

## 第9章 鎌倉市環境教育行動計画

### 1 環境教育（目標項目⑯）

目標：意欲的に環境保全に取り組む人を育てます。

#### ◆基本方針

- 持続可能な社会の形成に向けた環境教育を推進します。
- 自ら行動しようとする「こころ」を育てます。

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠であることから、平成 15 年に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律（平成 15 年法律第 130 号）」が制定され、平成 23 年度には協働取組の推進等を盛り込み、題名を「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」として改正されました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

本市では、平成 19 年に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定し、また平成 27 年度には持続可能な開発のための教育（ESD）の趣旨を反映するなどし、「鎌倉市環境教育行動計画」として改めて策定しました。本市ではすべての人が身近な環境から国や世界、将来世代の環境を意識して行動できることを目指した環境教育を推進しています。

### 目標を達成するための取り組み

#### 第1節 ライフステージに応じた環境教育の実施

環境教育は継続的に行うことや、年齢・ライフステージに応じて取り組んでいく必要があるため、環境問題に関心を持つための情報提供や学習会等の実施を推進し、環境保全に対する知識の増進及び知識の芽の育成に取り組めます。

主な事業	事業内容	実績
夏休み子ども向け自然観察会（少年期） 【環境政策課】	環境保全の普及啓発のため、夏休み子ども向け環境学習会を開催します。	実施回数：1回 参加人数：21名 (小学生11名、保護者10名)
酸性雨調査の実施（少年期） 【環境保全課】	大気保全に対する意識啓発を図るため、観測調査の体験を通じた大気環境の学習を実施します。	○子ども酸性雨調査 参加校：16校 参加人数：497名 ※98ページ参照
出前講座（少年期） 【環境保全課】 【ごみ減量対策課】	<p>&lt;環境保全課&gt; 小中学校の児童生徒を対象に、大気汚染やエネルギーの有効活用等、環境についての講義を実施します。</p> <p>&lt;ごみ減量対策課&gt; 市内保育園、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象に、ごみの減量・資源化の啓発等についての講座を実施します。</p>	<p>&lt;環境保全課&gt; ○酸性雨出前講座 受講校：5校 受講者数：354名 ○水生生物等環境調査 参加校：1校 参加人数：65名</p> <p>&lt;ごみ減量対策課&gt; 市内小中学校の児童473人に対し、環境教育（出前講座）を実施。</p>
下水道に関する啓発活動の実施（少年期以上） 【下水道河川課】 【浄化センター】	下水道事業への理解や普及の促進維持活動の充実を図るため、PR事業を実施します。	<p>&lt;下水道河川課&gt; ・市が独自に作成した下水道啓発ポスターを、鎌倉市立の小中学校25校及び4支所等に掲示した。</p> <p>&lt;浄化センター&gt; ・市内在住・在学の小学生とその保護者を対象に、「夏休み親子下水道教室」と題して、下水処理場の見学や簡単な水質実験等を行い、下水道事業の周知及び理解促進を図った。（参加者：26名、うち保護者11名）</p>
農業体験事業の実施（少年期から高年期） 【公園課】（指定管理者）	アドバイザーの派遣や都市公園での農業体験を実施します。	鎌倉中央公園において、（公財）鎌倉市公園協会と「山崎・谷戸の会」が協働して自然や農業に対する理解や関心を深めるため、市民を対象に農業体験を実施しました。 田んぼ体験（4月1日～3月10日）は延べ509人、畑体験（4月8日～3月27日）は延べ238人の参加者がありました。

食育に関する啓発活動の充実（少年期から高年期） 【市民健康課】	食品廃棄物の発生抑制や再生利用等の環境にやさしい「食」生活を推進します。	食に関する講座において、食べ残しをしないように声かけを行いました。また、片付けの際にはウエスやアクリルたわしを使用しました。
緑の学校（青年期） 【みどり課】	緑の効用や仕組みへの理解を深めるため、講義や自然観察会を実施します。	講座を 10 回開催。 受講者数延べ数 282 名
緑のカーテン栽培講座（全年代） 【環境政策課】	市民を対象にゴーヤ苗を育てて緑のカーテンを作る講座を実施し、緑化の効力を学び緑のカーテンを広めます。	実施回数：2 回 参加人数：76 名 （1 回目：38 名、2 回目 38 名）

## ●子ども酸性雨調査

＜環境保全課＞

子どもたちが調査を通じて大気環境の実態を学習し、大気保全の重要性を理解することを目指し、市内の小中学校等を対象に酸性雨調査を平成 9 年度から毎年実施しています。平成 30 年度は、16 の小中学校等、497 名が参加しました。

調査の結果、酸性雨の pH はここ数年横ばいの状況が続いています。児童・生徒たちからは、「パックテストの色の変化するのを見てともおもしろかったし、驚いた。」「日にちが違うだけで何性かがすごく変化した」などの感想が寄せられました。

酸性雨調査結果はパンフレットにまとめ、調査に参加していただいた生徒へ配布するなど環境学習の資料として使用しています。

表 9-1 子ども酸性雨調査参加者数と pH 平均値

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者数(人)	479	420	419	510	497
pH 全校平均値	5.4	5.4	5.2	5.6	5.6

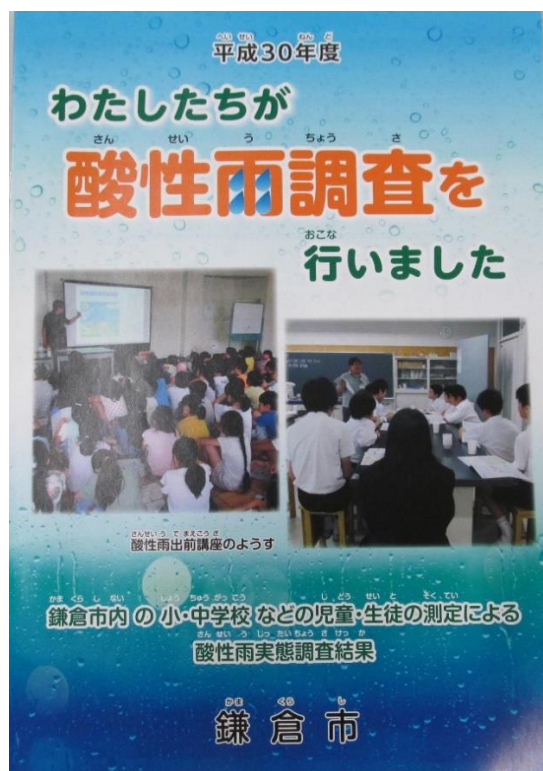


写真 9-1 酸性雨報告書

●環境保全に関する作品コンクール

<環境保全課・みどり課・下水道河川課>

夏休みの自由研究として、平成7年度から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

平成30年度は「緑」（小学生4～6学年、中学生対象）と「まちの美化」（中学生対象）という二つのテーマで実施しました。応募作品（ポスター）は、緑に関するものが232点、まちの美化に関するものが294点で、その中から「緑」では32点、「美化」では26点が優秀作品として選ばれました。

小中学生及び一般の方を対象に9月10日の「下水道の日」にちなみ、公益社団法人日本下水道協会及び(株)日本水道新聞社主催で、「下水道いろいろコンクール」が実施されました。

●環境保全関連講座の開催

＜青少年課＞＜教育総務課＞

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表9-2のとおり講座を開催しました。

表 9-2 環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
楽しい科学実験教室Ⅰ「エネルギー」	平成29年6月3日(土) 玉縄青少年会館	28人
宇宙教室	平成30年1月13日(土) 玉縄青少年会館	47人
おもしろ実験教室4「エネルギー」	平成29年11月19日(日) 鎌倉青少年会館	12人
たのしい科学実験教室Ⅱ「私たちと水」	平成30年7月7日(土) 玉縄青少年会館	25人
たのしい科学実験教室Ⅲ「海洋」	平成30年8月18日(土) 玉縄青少年会館	41人
サイエンス教室Ⅲ「吸水性ポリマー」で おもしろ実験	平成31年1月14日(月) 玉縄青少年会館	14人
宇宙教室①	平成30年6月30日(土) 玉縄青少年会館	18人
宇宙教室②	平成30年6月30日(土) 玉縄青少年会館	18人
おもしろ実験教室②「気象」	平成30年8月19日(日) 鎌倉青少年会館	18人
おもしろ実験教室③「海洋」	平成30年10月28日(日) 鎌倉青少年会館	6人
おもしろ実験教室④「まわれ！浮沈子」	平成30年11月18日(日) 鎌倉青少年会館	3人
こどもサイエンス教室D吸水性ポリマーで☆おもしろ実験	平成31年3月22日(金) 鎌倉青少年会館	9人
平面ルービックキューブとペットボトル風鈴をつくろう	平成30年8月6日(月) にかいどう子どもの家	111名
宇宙教室	平成30年8月15日(水) ふかさわ子どもの家	42人
アインシュタイン・ラボ	平成30年8月2日(木) やまさき子どもの家	119人

ペットボトルキャップ工作	平成 30 年 7 月 24 日 (火) たまなわ子どもの家	18 人
ペットボトル風鈴工作	平成 30 年 7 月 30 日 (月) たまなわ子どもの家	28 人
ペットボトルブレスレット工作	平成 30 年 8 月 17 日 (金) たまなわ子どもの家	10 人
トイレットペーパーの芯でリース作り	平成 30 年 8 月 23 日 (木) せきや子どもの家	3 人
科学実験教室	平成 31 年 2 月 13 日 (水) せきや子どもの家	57 人
市民大学:再生エネルギーと環境・リサイクル	平成 31 年 2 月 2、9、16、23 日(土) 腰越学習センター	45 人

●消費生活移動教室の開催

<市民相談課>

食の安全や住生活などの身近な消費生活に関する事柄をテーマに取り上げ、学習の場を提供しています。その内、平成 30 年度に開催した環境問題に関連した教室の状況は表 9-3 のとおりです。

表 9-3 消費生活移動教室の概要（環境問題関連）

講座名	内 容	参加者
夏休み子ども教室 実験してみよう！食べ残し・飲み残しの環境への影響・飲み物の甘さなど	飲み残し、食べ残しによる排水が環境に与える影響を学ぶ。また、清涼飲料水などに含まれている糖分の量を実験によって確認する。	17 人
夏休み子ども教室 LEDを学ぼう！	LED電球を使ったランプシェードを作成する。LED電球の特徴や白熱電球、蛍光灯との違いを学び、省エネに対する意識を深める。	親子 14 組 28 人

## ●学校における環境教育の取組

＜教育指導課・環境政策課＞

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身に付けたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。※牛乳パックのリサイクルについては、小・中学校全校で実施しています。

表 9-4 公立小・中学校における環境教育の取組

学 校 名	内 容	学 年
第一小学校	海・野山で自然と触れ合う	1～3年
	稲、野菜、花の栽培	全学年
	環境学習（ごみとリサイクル）	3・4年
第二小学校	稲、野菜、花の栽培	全学年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	地域の自然調査	3年
	環境学習（4R）	5年
御成小学校	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	環境学習（ペットボトルキャップリサイクル）	全学年
	野菜・花の栽培	全学年
	水の学習	4年
	稲の栽培	5年
	生物の飼育	5年
稲村ヶ崎小学校	稲・野菜の栽培	1～5年
	生物の飼育	2・3年
	湧水・川・海の学習	3・4年
	地域の自然学習	3・4年
七里ガ浜小学校	生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫	全学年
	広町の自然と触れ合う	1～5年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
腰越小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	生物の飼育	3年
	上下水道について	4年
深沢小学校	稲・野菜・草花の栽培と収穫	全学年
	自然とのふれあい、観察	1～3年
	環境学習（ごみ問題）	4年
	地域の自然調査	4年
	谷戸の活動	5年
小坂小学校	稲の栽培・谷戸の活動	3年・5年
	マイクロプラスチック（海ごみ）	5年
	野菜の栽培・収穫	若竹級
	湧き水・水の学習	3・4年
	環境学習（ゴミについて）	4年
玉縄小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	農家の訪問と調べ学習	3年
	環境学習（出前授業・ごみ問題）	4年
	水・森林の学習と調べ学習	4年
	漁業（資源問題と調べ学習）	5年
山崎小学校	地域の自然観察	全学年
	稲・野菜の栽培	全学年
	生物の飼育（カイコの飼育）	3年
西鎌倉小学校	稲・野菜・花の栽培	1・2・3・5
	自然との触れ合い・観察	1・2年



学 校 名	内 容	学 年
	生物の飼育	3年
	環境学習（宮ヶ瀬ダムほか・浄化センター・クリーンセンター見学）	4年
今泉小学校	野菜・花の栽培	全学年
	自然との触れ合い・観察	1・2年
	環境学習（寒川浄水場他見学、水・ごみの調査・学習）	4年
	環境学習（出前授業・稲（米）について）	5年
富士塚小学校	稲・野菜・花・へちま栽培	全学年
	植物栽培、畑づくり	1・2・3・6
	中央公園の自然と触れ合う	1～3年
	環境学習（水・ごみの調査・学習）	4年
関谷小学校	関谷川（水質調査）環境学習	6年
	野菜、花の栽培	全学年
	稲（米）について（出前授業）	5年
	地球の環境について（絶滅危惧種等）	4～6年
大船小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	環境学習（水について）	4年
	稲（米）について	5年
植木小学校	稲・野菜・花の栽培	1～5年
	ごみの分別収集を通じてごみ問題を考える（エコキャット）	全学年
	地域の自然観察	1～3年
	環境学習（ごみ・水・リサイクル・エネルギー）	4～6年
第一中学校	環境学習（修学旅行やキャンプで自然や環境保全の必要性について）	2・3年
	海の教室	1年
第二中学校	身近な自然環境の保全活動	全学年
	作物の栽培	1年
御成中学校	学校林の手入れ	全学年
	南斜面の整備	2年・科学部
	谷戸体験（下草刈り）	1年
	野菜の栽培	科学部
腰越中学校	海や川の清掃	全学年
深沢中学校	校地緑化活動	全学年
	作物の栽培	特別支援級
手広中学校	環境新聞づくり	1年
	地域清掃活動	2年
	緑のボランティア	3年
	学校緑化、リサイクル活動	全学年
大船中学校	「郷土」をテーマとする調査・体験活動	全学年
玉縄中学校	自然とふれあう体験活動	4・2年
岩瀬中学校	地域の自然環境をテーマとした調べ学習	1年
	自然学習（里山の下草刈り）	3年

## 私立学校における環境教育の取組

学 校 名	北鎌倉女子学園中学校高等学校	代表者	今泉 仁
-------	----------------	-----	------

### 取組状況

鎌倉三大緑地のひとつである台峯緑地に囲まれ、自然に恵まれた本校では、中学1年生を中心として、その豊かな自然を利用した環境教育を行っています。まず、中学1年時に学習する理科では、「身近な植物の観察」を学校の敷地内の広い野外にて行います。そこでは、近頃の子どもたちにとっては珍しい様々な「野草」を観察することができます。また、夏には野辺山自然学習を行い、登山を通して北鎌倉とは異なる自然に接していきます。そして3月には「北鎌倉の景観を後世に伝える基金」のボランティアの方々に講師をお願いし、北鎌倉の山歩きを行います。身近に自然を感じることができ、耕地から自然に戻った変化を実際に見ることができます。こうして一年を通して自然本来の姿を理解し、人間と自然の共存を学ぶ機会としています。

他に中学3年生が水質調査(COD)を学校周辺の野外、小袋谷川にて行い、学校周辺の環境調査をしています。また、有志サークルが中心になりビーチクリーニングを企画し、鎌倉由比ガ浜の海岸清掃を行いました。高校1年生は学園内の芝地の植生調査も行っています。



中学1年 山歩きの様子

学校名	鎌倉女子大学中・高等部	代表者	部長 小藤 俊樹
住所	鎌倉市岩瀬1420	TEL	0467-44-2113
FAX	0467-44-2209	担当者	信太 朋恵

#### 取組状況

鎌倉女子大学中・高等部の家庭研究部では、昨年に引き続き、かんきょうデザインプロジェクトが主催する「かんきょう文化祭 USEDリメイクファッションショー」に参加しています。「環境を考えるとすることは次の人のことを考える力をつけるということ」を活動指針として取り組んでいます。

8月に各家庭から出される古着が集まるファクトリーを訪ね、古着のリユース・リサイクルを学んだ後、ファッションショーで披露する古着を調達し、その古着でリメイク服を作成するという活動です。

11月に行われた「かんきょう文化祭」では、部員の作成したリメイク服の作品展示や、そのリメイク服を他校の中学生有志のチアチーム「Livery Stars」が着用して躍動感あふれるダンスを披露してくれました。

家庭で不用になった衣類のうち、リユースまたはリサイクル目的で回収されるのは全体の約30%で、約70%は焼却処分やお家の中で眠ったままとされています。「もったいない」。

ライフスタイルの中に「もったいない」というエコロジカルな考え方をもっているデザイナーやクリエイターの方々と連携し、遊び心と五感で環境を感じるプログラムに参加し、私たちにできることを考える良い機会になりました。この取り組みで感じたことを、これからも大事に育ててほしいと思います。日々の暮らしの「気づき」を大切に過ごしてほしいと考えています。



古着工場見学と古着の調



リメイク服の作



かんきょう文化祭当

学校名	鎌倉女学院中・高等学校	代表者	錦 昭江	担当者	岡田 健一
<b>取組状況</b>					
中1					
「富士五湖周辺自然観察」で、2泊3日で次のような研修を行い、環境学の基礎として、自然に関心を持ってもらいました。					
第1日					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士湧水の里水族館にてワークシートを用いた淡水魚の観察</li> <li>・ インストラクターの解説を聞きながら、青木ヶ原樹海ウォーク</li> </ul>					
第2日					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットボトルを使って山中湖の生物を採集</li> <li>・ 湖水の生物と人間が共存するための方法について話し合い、班ごとに発表</li> </ul>					
第3日					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山梨県富士山科学研究所及び生物多様性センターの見学</li> </ul>					
中3					
「環境」という授業を1年間行い、環境問題について班ごとに調べ、次のようなテーマで発表してもらいました。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大気汚染</li> <li>・ エネルギー問題</li> <li>・ 地球温暖化 等</li> </ul>					
高2					
4泊5日の「フィールドワーク沖縄研修」で、事前のリサーチや事後のレポート提出を通して、沖縄の自然や環境問題について学びました。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前リサーチでは、授業や書籍、インターネットで沖縄の環境問題について学びました。</li> <li>・ 4泊5日の研修ではマングローブの観察や海洋生物の観察を通して沖縄の自然を体験的に学びました。</li> <li>・ 事後のレポートでは、さんご礁の被害など海洋生物の問題について報告しました。</li> </ul>					
高3					
英会話の授業の中で、4技能を使いながら、プレゼンテーションするプロジェクトの中に環境問題を取り上げ、ディベートをするグループがありました。					
中学生					
次の「土曜講座」で自然観察の仕方を学びました。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ビーチコーミング」では、材木座海岸の漂流物を観察</li> <li>・ 「バードウォッチング」では、鎌倉八幡宮周辺の鳥の観察</li> </ul>					

## 公立高等学校における環境教育の取組

学校名	神奈川県立大船高等学校	代表者	校長 富樫 由里子
住 所	〒247-0054 鎌倉市高野 8 番地 1	TEL	0467-47-1811 (代表)
FAX	0467-43-4856	担当者	金子 真由美

### 取組状況

大船高等学校は、六国見山の中腹に位置し、遠くには富士山や丹沢の山々が、近くには大船の街が一望できます。学校周辺は緑が多く、鳥や虫の鳴き声が聞こえる静かな、自然環境に恵まれた学校です。本校における環境教育に関するさまざまな取り組みの中から、次の4点を紹介させていただきます。

#### ○ ごみの分別と資源化の取り組みを地道に継続しています

大船高校生徒会組織の一つである美化委員会では、年間を通して校内のごみの分別、リサイクル紙の回収、校内美化の促進などに取り組んでいます。今年度は特にリサイクル紙の回収に力を入れています。また、学校行事においてゴミの排出削減、分別の徹底化を図るべく、美化委員を通して生徒への啓蒙活動を行っています。

各教室には燃えるごみ、プラ、缶、ペットボトル、紙パックなどのごみ箱とともに、リサイクル紙の回収箱を常設しています。「紙ごみは捨てればごみだが、回収すれば資源」という意識を一人でも多くの生徒が持って、ごみの減量化を実践することにより環境問題に関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。

#### ○ 家庭科では、環境に関する課題解決授業をおこなっています

2学年は、夏休みに全生徒が自らの生活の中に課題を見つけ、解決に取り組む「ホームプロジェクト」をおこなっています。「プラスチックゴミを減少させよう」「捨てるものを使って家中ピカピカに！」「我家の無駄ないCooking」など、今年度も環境問題に対する生徒自身の取り組みや工夫などに関するレポートが提出されました。それをお互いに発表し合うことで知識や体験を共有し、環境に関する諸問題や解決策等への更なる取り組みのきっかけとなればよいと考えています。

#### ○ 保健の授業で、環境問題について学習しています

保健の授業では、大気汚染や水質汚濁、土壌汚染と健康への影響について学習しています。一般的な公害についてだけでなく、住んでいる地域、学校のある鎌倉市など身近な自然や環境の変化や気付きを元に、生徒自身で考え学ぶ授業を実施しています。調べたことを発表することで環境についての様々な視点や意見を共有しています。

#### ○ 理科の授業で、環境問題について学習しています

化学基礎では、資源は有限であり物質のリサイクルについての必要性や有効性を、物理基礎では、エネルギーの観点から、効率よいエネルギー生産及び変換について学習しています。



### 事業者による環境教育・啓発活動の実施

- ・節電や省エネ関係のポスターやビラ（行政や上部団体の作成したもの）を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。【湘南モノレール株式会社】
- ・学校教育支援活動として、出張授業を実施。平成 30 年度の鎌倉市内では、出張授業 10 クラスを実施。先生向け研修会は 1 回実施。【東京ガス株式会社】
- ・太陽光発電、風力発電モデルを使った子ども環境教室への協力を実施。【東京電力パワーグリッド株式会社】
- ・LED照明の環境貢献（省エネ性）について、出張講習を実施。（小学校でのLED工作教室実施など）【三菱電機照明株式会社】
- ・地球環境の維持、森林資源の保全、生活の向上（健康・快適・経済）に繋がる省エネ住宅に関する講義、省エネ性・快適性を体感するモデルハウスの見学会を実施。【株式会社イソダ】

## 第2節 環境教育を実践できる人材の育成と活用

環境教育や環境保全活動等の推進における指導者や教職員の育成や資質の向上に努めるとともに、指導者を地域の環境学習会等に派遣するなど、地域や学校の取り組みを支援します。

主な事業	事業内容	実績
緑のレンジャー（ジュニア）の育成 【みどり課】	自然の生き物や草花とふれあうことで自然に対する意識の高い緑のレンジャー（ジュニア）を育成します。	講座を 11 回開催。 受講者数延べ 257 名
緑のレンジャー（シニア）の育成 【みどり課】	市民との連携推進の一環として、豊かな兵陵の樹林地を管理する緑のレンジャー（シニア）を育成します。	講座を 11 回開催。 受講者数延べ 122 名
アドバイザーの派遣 【環境政策課】	環境教育アドバイザー派遣制度により、環境に関する専門的な知識や経験を有する、アドバイザーを派遣し出前授業を行います。	講習会等に 45 回、252 人のアドバイザー及び補助者を派遣。 受講者数延べ 3,291 名
学校職員の環境教育 【教育センター】	学校職員が環境に関する知識や技術を習得するため、環境教育の研修会を開催します。	理科・総合等研修会 テーマ「地域の自然と人間の営みを探る～鎌倉中央公園を活用して～」 講師 五感教育研究所 室長 高橋良寿氏 日時：7月23日(月) 会場：鎌倉中央公園 参加者：5名 鎌倉市初任者研修会 テーマ「自然から学ぶ～体験の一般化と概念化～」 講師 五感教育研究所 高橋良寿氏 日時：8月24日(金) 会場：足柄ふれあいの村 参加者：20名

### 第3節 環境教育をする場、素材の整備

環境保全活動や自主的な環境学習活動を促進していくために、水辺、緑地といった、環境学習フィールドとして適した場所についての地域づくりを推進します。

主な事業	事業内容	実績
緑地の整備促進 <b>【みどり課、公園課】</b>	自然環境の保全、活用を基調に、健康づくり、ふれあいや憩いの場づくりとして、緑地を整備・充実します。	<p>&lt;公園課&gt;</p> <p>社会資本総合整備計画に基づき、鎌倉市吸収源対策公園緑地事業を実施。</p> <p>梶原六本松公園は、用地取得が完了し、開園済み。</p> <p>笛田一丁目公園については、平成27年度に整備工事が完了し、開園済み。</p> <p>山ノ内西瓜ヶ谷緑地については一部(1.2ha)開園した。平成28年度に残る用地の取得が完了したことから、平成29年6月に全面開園(1.4ha)を行った。</p> <p>山ノ内東瓜ヶ谷緑地については平成28年度に整備工事を実施し、平成29年6月に開園(0.3ha)した。</p> <p>(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地については、平成27年度に整備工事を実施した。今後は、都市計画決定の上、残る事業への着手を予定している。</p> <p>その他、(仮称)山崎・台峯緑地の整備を実施中。</p> <p>&lt;みどり課&gt;</p> <p>確保緑地の適正整備事業(常盤山特別緑地保全地区)を5回実施。</p>
公園の整備促進 <b>【公園課】</b>	自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。	同上
ハイキングコースの維持管理 <b>【観光課】</b>	市民、観光客が豊かな自然に親しむことのできるハイキングコースの維持管理を引き続き行います。	市民及び観光客が利用しているハイキングコースについて、安全で快適な状態に保たれるようにパトロールを実施した。



<p>ビオトープ等の整備 【環境保全課】</p>	<p>市庁舎前に整備したビオトープにおける生物の自然な生息を維持し、自然観察の場を提供します。</p>	<p>平成 13 年に隣接する御成小学校の児童とともに市庁舎前の池をビオトープとして整備し、来庁する市民等が身近に自然観察を行える場として維持管理を実施。</p> <p>見学を希望した県外小学校 1 校、3 名に対して、ビオトープや関連する生物についての解説を実施。</p>
<p>鎌倉の環境保全の解説 【環境保全課】</p>	<p>希望者に鎌倉の環境保全についての解説を実施します。</p>	<p>相模湾プラスチック汚染対策プロジェクトについて大学生 3 名に対して説明、滑川の水質について、市内の中学生 2 名に対して解説を実施。</p>
<p>日本遺産事業 【歴史まちづくり推進担当】 日本遺産いざ鎌倉協議会</p>	<p>日本遺産の情報発信、普及啓発等のため、事業を行ないます。</p>	<p>鎌倉の日本遺産のストーリーや構成文化財、その他鎌倉に所在する貴重な歴史的遺産等の周知を図るとともに、日本遺産を通じて鎌倉の歴史的・文化的価値や魅力を、国内外からの来訪者に対して広く伝えることを目的とし、日本遺産「鎌倉」情報紹介コーナーを鶴岡八幡宮境内に設置しました。</p>

## 環境教育をする場、素材の整備におけるその他取り組み

### ●生涯学習ガイドブック

＜教育総務課＞

毎年発行している「生涯学習ガイドブック」には、いつでも、どこでも、だれでも、気軽に、どんなことでも学べるように、講座・催し物、自主学習グループ・サークル、生涯学習指導者などの情報が掲載されています。また、この生涯学習ガイドブックでは、自然や環境の分野にかかわりのある講座・催し物・グループ等の情報についても紹介しています。

### ●教育資料の刊行

＜教育センター＞

学校における学習資料など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校3・4年生社会科学習資料「かまくら」や中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、中学校理科学習資料「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。

### ●環境に関する図書館資料の充実

＜中央図書館＞

鎌倉市図書館には、環境をテーマとした資料が3,872点(図書3,585点、雑誌180点、AV資料107点)(平成31年3月現在)あり、市民の環境学習を支援しています。

## 第4節 環境教育に関する情報提供

「ライフステージに応じた環境教育の実施」、「環境教育を实践できる人材の育成と活用」、「環境教育をする場、素材の整備」の施策を充実させるため、環境教育に関する情報提供を行います。

### ● 広報かまくら

＜広報広聴課＞

市の情報提供媒体として、原則毎月2回発行している広報紙「広報かまくら」があります。平成30年度中の主な環境教育関連記事として、再生可能エネルギー・省エネ機器等設置に補助金、クリーンアップかまくら開催、光化学スモッグへの注意喚起、深夜花火の禁止、ライトダウンキャンペーンの呼びかけ、生ごみ処理機直接販売、環境調査の結果、こちら環境通信局（連載）、廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例への意見募集、ごみの持ち込み事前予約制、環境ポスター募集、食品ロス、環境関連イベントの告知などを掲載しました。

### ● 鎌倉ごみ減量通信

＜ごみ減量対策課＞

鎌倉市のごみ減量・資源化施策の紹介する鎌倉ごみ減量通信について、年2回の通常号、また、年1回の特集号を発行しました。

### ● J:COM 湘南・神奈川

＜広報広聴課＞

ケーブルテレビ「J:COM 湘南・神奈川」の「鎌倉市からのお知らせ」として、毎月1日～15日、16日～その月の末日の各約15日を1サイクルとして1日4回、週28回の放映を行い、市の環境政策などのさまざまな情報について紹介しています。

### ● かまくらFM

＜広報広聴課＞

かまくらFMの市政情報番組「かまくらじお」でも、市の環境政策などのさまざまな情報について放送しています。放送は月曜日～金曜日は1日6回、土・日曜日は1日2回です。

### ● 市ホームページ (<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

＜広報広聴課＞

インターネットを活用し、環境関連などさまざまな情報を発信しています。従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、生活環境のページ

(<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/index.html>)では、「鎌倉市の環境政策」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々環境トピックスも掲載しています。あわせて環境計画のページ

(<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/kankyouseisaku/kankyokeikaku/index.html>)では、「かまくら環境白書」などの各計画について掲載しています。

なお、ごみ・リサイクルのページ(<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>)でも、「資源物とごみの分け方・出し方」などを掲載し、循環型社会の形成に向けて情報を公開しています。

●facebookページ（鎌倉市役所日記）

<http://www.facebook.com/kamakuracity.hisyokoho>

＜広報広聴課＞

主に行政情報をお知らせしている鎌倉市役所日記は、省エネに関する講座、市内の清掃・環境保全活動なども掲載しています。鎌倉市役所日記自体の更新頻度は、市役所開庁日であれば数日に1回程度ですが、環境に関する催し物の開催日時等によって、随時更新しています。

●広報広聴課 twitter ([http://twitter.com/kamakura\\_koho](http://twitter.com/kamakura_koho))

＜広報広聴課＞

市ホームページのトップページにある「お知らせ」欄や広報かまくらに掲載された情報を、広報広聴課のtwitterにも掲載しています。twitterには掲載できる文字数に限りがあるので、市ホームページのアドレスを掲載し、詳細は各ページで確認できるようにしています。

●Youtube (<http://www.youtube.com/user/KamakuraOfficial>)

＜広報広聴課＞

市の公式アカウントで、J:COM 湘南・神奈川で放送した市政情報番組「鎌倉市からのお知らせ」や市長記者会見などを掲載しています。

●市公式LINE

＜広報広聴課＞

平成31年3月に運用開始。Bot機能を搭載したごみに関する市の別アカウント「鎌倉ごみ調べ」と連携し、ごみの出し方について情報発信しています。

●暮らしのガイドブック

＜広報広聴課＞

暮らしのガイドブックは市役所の窓口などの行政情報や日常生活に役立つよう作成された冊子で、2019-2021年版は平成31年3月に発行しました。冊子中ほどにある特集ページでは、ごみ減量への取り組みを掲載し、特集ページに続いて行政ページでは、資源物の収集方法や生ごみ処理機の助成制度などを掲載しています。

## ■各主体との連携

### ●環境保全団体活動に対する支援

〈環境保全課〉

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体を実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表9-6のとおりです。

表 9-5 環境保全団体に対する支援の実施状況

年 度	通信助成		講師派遣助成		後 援	
	団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
平成 26 年度	4	413 通	—	—	1	1 回
平成 27 年度	4	310 通	—	—	1	1 回
平成 28 年度	3	243 通	—	—	1	1 回
平成 29 年度	2	202 通	—	—	3	1 回
平成 30 年度	2	121 通	—	—	6	7 回

### ●市内環境保全団体等の活動状況

〈市民・事業者〉

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。

これらの団体から平成 30 年度の活動内容を報告してもらい、原文のまま掲載しました。

団体名	特定非営利活動法人 鎌倉ガイド協会	会員数	113名	代表者	会長 高橋健治
活動目的	鎌倉ガイド協会は、鎌倉及び鎌倉周辺を訪れる人々や在住者に、史跡、文化財等の案内、解説をし、理解していただくことにより地域の魅力を伝え、観光の振興、文化の普及、社会教育及びまちづくりの推進に寄与することを目的として活動しています。				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <p>●市民団体による史跡案内</p> <p>当協会は、協会が独自に企画して案内する「史跡めぐりガイド」、鎌倉近辺の観光ガイドを希望される方を対象として実施する「一般ガイド」、小中学校や旅行会社からの依頼により案内する「総務ガイド」を行っています。</p> <p><b>【活動の成果】</b></p> <p>平成30年度は「史跡めぐりガイド」は9,573名、「一般ガイド」は3,388名、「総務ガイド」は10,438名、合計では23,399名の方々のご案内をしました。</p> <p>当協会では、会員を対象とした研修会を毎月開催して、史跡や自然を学び、歴史的遺産や自然環境の保全、美しい街づくりなど環境の保全・啓発に努めています。</p> <p>又、当協会は、鎌倉を訪れ、鎌倉観光をされる人々に古都鎌倉の良さや自然環境の大切さを伝えています。そのために、「ごみ」の持ち帰り、生物を大切にす、周囲の環境を壊さないようにする等の啓発を行っています。併せてガイドコース下見時にはガイド数名がトングを持参して、道路・寺社境内のゴミ拾いを積極的に行っています。また鎌倉市が主催するクリーンアップ等の清掃活動への参加、植樹の協力、散策路の整備、歩行中の人や近隣の皆様、社寺等に迷惑のかからないようにするなど、環境に対する保全と啓発活動を行っています。</p>					

鎌倉を美しくする会活動報告書		会員数	22名	代表	高田晶子	
活動目的	2018(H30)年度 落書きゼロ・バス停ベンチ設置 快適なまちづくり					
<b>活動の内容</b>						
<b>※落書きゼロのまちづくり</b> 落書きゼロ（貼り紙を含む）を維持するために、通年パトロールと消去活動、記録に時間を割いています。平成21年度スタートした市との協働事業が9年経過。長年書き続けている少数の常習犯の犯行は続いています。落書き月次報告による情報を共有してきた結果、警察、行政(県・市)、市民団体との間に築かれた揺るぎない盤石な連携が迅速な対応を可能とし、常に落書きゼロを保持するまでになりました。落書きゼロを維持することで、まち美化にも大きく貢献しています。						
<b>特記事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 増え始めた大船地区の落書きに対抗して、2016年11月から2017年4月までの同地区内の落書きを地図にまとめ、市の掲示板に貼って頂いた結果、大船地区の落書きは下記一覧表の通りH21～H29の平均値15.42%に対し、平成29年度は10.8%と4%減の結果を得ることが出来ました。落書きされやすい商業地区にあって、広報と迅速な消去の成果といえます。書かれやすいシャッターは夜パトロール。商業地区にありがちな落書きゼロを維持しており良好な環境が守られています。</li> </ul>						
<b>平成30年度 月毎地区別落書き件数作業用</b>						
	鎌倉地区	腰越地区	深沢地区	大船地区	玉縄地区	合計
4月	19	14	31	6	0	70
5月	26	28	0	0	0	54
6月	8	5	5	1	0	19
7月	72	8	1	4	0	85
8月	21	10	1	1	0	33
9月	14	5	1	7	0	27
10月	16	5	0	0	0	21
11月	1	2	0	4	0	7
12月	9	1	1	1	0	12
1月	9	3	1	0	0	13
2月	17	0	0	9	0	26
3月	14	0	0	0	0	14
<b>地区別合計</b>	<b>226</b>	<b>81</b>	<b>41</b>	<b>33</b>	<b>0</b>	<b>381</b>
<b>%</b>	<b>59.3</b>	<b>21.3</b>	<b>10.8</b>	<b>8.7</b>	<b>0</b>	<b>100</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 玉縄地区関谷の県道から入った場所に、2012年のサイン入り大物落書き3件を見つけ、会員と消しました。関谷には取り残されたように、やりたい放題大物の古い落書きが点在しており、2005年から取組んだ消去活動は延々と続き、今年度で全て制圧？することが出来ました。</li> <li>● 国道134号線沿いの落書きも以前より減りました。腰越には2016年海岸擁壁に向けた防犯カメラを神奈川県が設置され睨みを利かせており、かなり良好な状態が続いています。</li> <li>● 主に鎌倉地区のパトロールをしてくださるサポーターに加え、七里ヶ浜行合橋周辺をパトロールしてくださるサポーターが加わり体制が強化されました。</li> </ul>						

#### 今後の課題

- ダントツに多い鎌倉地区とそれに次ぐ腰越地区の落書きを如何に減らすか、地域の知恵と行動が必要です。最近防犯カメラを設置された由比ヶ浜自治会の朗報を知りました。防犯カメラの威力は多くの人が知るところであり、残念ながらそういう時代であることのも認識も求められます。

#### ✕バス停ベンチ設置活動

一般社団法人全国清涼飲料連合会・アルミ缶リサイクル協会からのご支援により、4か所のバス停 ①玉縄台、②打越（玉縄）③万々セタ-入口、④町屋入口に正規のベンチを設置し、違反ベンチ4台を撤去することが出来ました。

2004年スタートした支援者を募り行政の許可を得てバス停にベンチを設置する活動は82台（内故意、事故破損3台 九品寺、下馬四つ角、手広）となり、今も現役で地域のお役に立っています。



団体名	かまくら環境会議	会員数	25名	代表者	大道不二子
活動目的	自然保護、調査活動、環境啓発、環境学習支援、学習会、情報発信				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鎌倉市の河川維持管理協力団体として、扇川の生物・水質調査を原則として奇数月の土曜日に、水部会を中心に年6回実施しました。その他、ホテルの観察会を2回（扇川 関谷川）開催しました。また、扇川の清掃及び草刈を1回行いました。</li> <li>○ 2月（平成31年）に 講師 山田海人さんで「北鎌倉の自然」の学習会を行いました</li> <li>○ NPOセンターフェスティバルに展示参加をし会のアピールをしました。</li> <li>○ 4月と9月に神戸川環境調査を実施しました。</li> <li>○ かまくら環境保全推進会議に団体委員として参加し、市の環境政策推進に協力しました。</li> <li>○ 「扇川だより」を発行しました。</li> <li>○ 会報「エコ・コミュニティ」を2回発行しました。</li> <li>○ 石原谷戸と関谷川の環境調査を2回実施しました。</li> <li>○ 6月23日に総会を開催し、総会終了後、これからの環境会議について話し合いました</li> <li>○ 5月と12月に海岸調査を実施しました。</li> <li>○ 10月に関谷小学校環境教室に講師として参加しました。</li> <li>○ 行政主催の環境教室に協力しました。</li> </ul> <p><b>【活動の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○扇川の水質・生物データを市に提供し、共有することができました。</li> <li>○環境教育では、市民や子供達への支援をすることで、啓発の一端を担えました。</li> <li>○行政や企業、また他の市民団体との協働により、意識の共有ができました。</li> <li>○環境保全やまち美化に貢献できました。</li> <li>○「よへい屋敷谷戸の会」にアドバイザーとして参加しました。</li> </ul>					

団体名	特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会	会員数	300名	代表者	相川明子
目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する市民活動				
<p>【活動内容】</p> <p>「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させました。2008年4月より特定非営利活動法人団体となりました。</p> <p>当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、堆肥を利用した循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)を設け、鎌倉中央公園内の谷戸において、昔ながらの農文化を継承した手法にて、谷戸の景観と生態系を保全しています。</p> <p>&lt;年間の活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7つの班により、季節に応じた保全活動を実施(270回) そのうち、70回は公園協会との協働事業</li> <li>・事務局の運営(木曜を除く毎日6時間、交代制で実施)、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等</li> <li>・谷戸まつりを開催し(年2回)、公園で収穫した農産物や加工品を会員・一般市民に頒布</li> <li>・会報の発行(年6回) 谷戸塾開催(全56回 内訳: 田んぼ・畑・雑木林管理班の作業各38回、谷戸講座7回実施)環境省主催モニタリングサイト1000里地調査・事務局員向け勉強会開催</li> </ul> <p>&lt;行政、公園課、公園協会との協働など&gt;</p> <p>3者協議に出席(4回) 鎌倉市職員研修受け入れ</p> <p>&lt;主要事業及び公園協会との協働事業&gt;</p> <p>理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、子ども里山体験、活動連絡会議の開催(1回/月)、「ホタルの紙芝居」とパトロール、春の七草・どんど焼き</p> <p>&lt;体験学習の受け入れなど&gt;</p> <p>鎌倉市環境政策課・環境アドバイザーに登録し、学校との連携を深めています。毎回、事前に学校、担当者間で打合せ、実施後は担当者・体験学習スタッフ間で反省会を行い、活動記録を作成し充実化に努めています。深沢小学校5年生 特別支援教室ひだまり 富士塚小学校5年生 小坂小3年生 大船中学1年生 御成中学1年生、風致保存会主催の中学生保全活動(深沢中3年生 玉縄中3年生)その他、深沢小学校教員補助作業、鎌倉市保育士講座、富士塚小教員補助作業を行いました。西鎌倉幼稚園観察会をしました。</p> <p>&lt;他団体の受け入れなど&gt;</p> <p>自然環境復元協会主催 若手ボランティア(かまくらレンジャーズ保全活動受け入れ)・PHD研修生 谷戸体験・かまくら子育て支援グループ懇談会と共催 かまくらママ「Sカレッジ「サトイモとどろんこ」・青空自主保育「やんちゃお」保全活動・青空自主保育「にこにこ会」保全活動・青空自主保育「なかよし会」保全活動・県職員研修・鎌倉市職員研修・かまくら認知症ネットワーク「かまくら散歩」・JR東日本「鎌倉山崎・森人の会」保全活動・「命を守る南相馬防潮堤」プロジェクト 鎌倉山崎・森びとの会 保全活動</p> <p>&lt;他団体への訪問・交流・会議出席など&gt;</p>					

山崎の夏祭り協力・深小ふれあい広場にて炊き出し・かまくら子育て支援グループ懇談会・鎌倉女子大共催の「かまくらパパ・ママカレッジ」に展示発表・かながわコミュニティーカレッジ

<PR・展示活動>

NPOセンターフェスティバル参加・鎌人いち場参加・NPOセンター地下道ギャラリー展示・かまくら子育て支援グループ懇談会鎌倉女子大共催の「かまくらパパ・ママカレッジ」にパネル展示

<取材・掲載>

鎌倉FMで毎月第2第4水曜日の朝「おはよう かまくら」にライブ出演・KCTV(年間数回)

<農産物の寄付提供>

近隣町内会、福島被災者支援活動、かまくら子育て支援グループ懇談会、第3地区社会福祉協議会、高齢者ケア施設など

団体名	鎌倉の自然を守る連合会	会員数	6自治・町内会会員 3,900世帯	代表者	中原 攻
活動目的	<p>① 連合会（8自治・町内会）は25年にわたり、広町緑地の開発反対運動を展開し、その開発を阻止し保全を獲得した成果をふまえ、同緑地の都市林の構築・管理運営に寄与し、これを次世代に継承していきます。（自治会・町内会の数は、多少の増減があります）</p> <p>② 広町緑地の保全・維持・管理活動に参加・支援し、周辺自治・町内会の住民に、広町緑地の関連情報を提供し、意見を集約し、都市林の管理運営に反映させます。</p>				
<p>【活動内容】</p> <p>1) 都市林構築に参画——広町緑地の都市林構築に関して、基本構想、基本計画、基本設計及び実施設計に関与し、広町周辺の連合会加盟自治会・町内会の意見を集約し、反映させてきました。今後とも、よりよい都市林とするため、指定管理者と協力して広町緑地の管理運営に、地元住民の立場で参画していきます。</p> <p>2) 広町緑地周辺の連合会加盟自治・町内会の意見吸収し、鎌倉市、指定管理者や関連団体との意見交換を行い、要望の実現を図ります。「鎌倉広町緑地懇話会」のメンバーとして発言しています。</p> <p>3) 各種イベントを通して、地域住民や子供達が広町緑地と親しむ機会を設けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第2土曜日の午前中、「広町ウォーク」を開催して、周辺住民が広町を訪れる機会を設けています。</li> <li>・毎年4月と10月、「広町の草花を愛でる会」を開催。広町の自然や桜・草花などに親しむ機会を設けます。</li> <li>・毎年6月、各自治会で行う「ホテル鑑賞会」の開催の支援を行います。</li> </ul> <p>今後共、上記の各イベントは、加盟自治会・町内会以外の人々の参加も受け入れていきます。</p> <p>4) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も有力な広報活動である「連合会ニュース」を年2回程度発行し、加盟自治会・町内会全世帯（約4000世帯）に配布しています。ホームページも設置しています（<a href="http://hiromachi.sakura.ne.jp/">http://hiromachi.sakura.ne.jp/</a>）。</li> <li>・広町緑地の花カレンダーを毎年作成し、加盟全世帯に配布しています。</li> <li>・広町の利用に関するアンケート調査を行い、420名からの回答を得ました。地域住民の意識・意見・要望を集約して「懇話会」で発表しました。</li> </ul> <p>5) 広町緑地の保全運動の歴史をとりまとめ、他の地域の自然保護運動に資するよう提供すると共に、次の世代</p> <p>の人々にも伝承するための活動を行っています。</p> <p>① 2008年12月、広町緑地開発反対運動の25年間の歴史をまとめた本「鎌倉広町緑地はかくて守られた」を発刊し、鎌倉市・県・国並びに周辺の学校等に寄贈すると共に、連合会関連の希望者に有償配布しました。（連合会として合計1000冊以上を寄贈及び有償配布しました。）</p> <p>② 2015年5月、広町の運動史の詳細版として、「鎌倉広町緑地保全運動史－25年にわたる市民運動の記録と資料」（CD付）を編纂し発行しました。これは、鎌倉市・県・国及び全国の県立図書館等（国立国会図書館を含め計63冊）並びに主な大学（計70冊）などに合計150冊を寄贈しました。①の本と</p>					

共に、広町緑地保全運動の記録を、次の世代にも伝えると同時に、全国の緑・環境保全に関わる人々への参考に提供しました。

6) 渉外活動——自然環境保護に関する勉強会として、里山保全を実施している他の公園を見学して情報収集しています。2018年度は横浜自然観察の森を見学し、行政・専門家の環境保全への関わり方を学びました。

7) 広町緑地の保全・維持・管理活動への協力——鎌倉市が応募した「広町5つの会」(田んぼの会、畑の会、森の会、自然観察の会、散策路の会)に、広報等で支援・協力しています。実作業は、各個人がボランティアとして参加しています。

【活動の成果】 — 上記の【活動内容】と同じ内容を毎年実施し、広町緑地の管理運営に関して指定管理者に協力しています。

以上

団体名	鎌倉広町緑地友の会	会員数	199名	代表者	大橋 圭介
活動目的	ナショナルトラスト運動で鎌倉の緑地保全を目的とする				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <p>私たちの団体は、生態系ゆたかな大きな緑地を後世に伝えてゆくべく、緑のない住宅都市鎌倉にはしないと、市民運動を続けています。</p> <p>いま、市民と行政によって全面保全が実現している広町緑地には、たくさんの子供たちの団体がきています。</p> <p>日本の未来は、日本の子供たちの心にかかっています。子供の頃、生態系豊かな自然を遊び場にしてたひとたちが、ノーベル賞受賞者になっています。世界の人たちがうらやむ明るく豊かな日本をつくる日本の子供たちが育っていくためのボランティア活動をした1年でした。</p> <p>4月1日、大きな桜の木をたずねるお花見会、4月21日、いろいろな思い出を書いた作文を表彰、4月26日、桐の木にたくさんの花を付けた風景の観賞、5月19日、父、母、兄弟力を合わせての植樹祭、6月16日、自然の中で育ったゲンジボタルの乱舞を観賞、6月29日、3か所に群生する半夏生の観察、9月15日、たんぼに、日本らしいたんぼの風景となるカカシを、雨の降る日だったが親子で作った、10月7日にはどろどろになりながらも、稲刈りをした、10月28日は、春に植えたサツマシモ堀をした、11月17日、広町で育てたお米や野菜をおとなたちと一緒に調理をして、収穫祭を祝った、12月16日には、クリスマスリースづくりをした、1月27日は寒い日だったが、家族そろって麦踏をたのしんだ、2月24日には、畑でとれたそばをつかって、おそばづくりをし、楽しく食べた、3月17日は、ジャガイモの植え付けを手際よくできた。</p> <p>これらの活動は、広町全面保全実現後、たんぼ、はたけ、もり、しぜんかんさつなど、5つの会が日ごろ行なっているボランティア活動にお世話になってきてます。</p> <p>私たちの会だけの活動ではありません。</p> <p>いつの日かこうした作業を積み重ねて行って、今の大人たちがしているボランティア活動を子供たちは、切れ目なく続けてゆけると信じてます。</p> <p><b>【活動の成果】</b></p> <p>広町緑地の指定管理者の一翼をになっている「NPO法人 鎌倉広町の森市民協議会」には、上記の活動に喜んで参加している子供たちの保護者のかたがたが、入会してくださってます。</p> <p>これは、指定管理者としての信用をおおいにたかめています。</p>					

団体名	鎌倉の海を守る会	会員数	役員20名 (会員システムを とっていないため)	代表者	河合涼太
活動目的	鎌倉の海浜とその周辺の自然環境及び景観を保全しできるだけ人工の手を加えず後世に伝えることを目的とする。				
<p><b>【活動の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会報発行年2回（4月、12月）</li> <li>• 5/6 ビーチクリーンアップ：会の活動で最も長いものの一つ。1997年以来、市内海岸全域で年2回行っています。</li> <li>• 5/26 浜の植物を楽しむ会：七里ガ浜海岸の鎌倉高校前駅から稲村ヶ崎公園までの間と隣接地を歩いて、市内海岸でほとんど失われた浜の植物群落を観察しました。海と陸の接点に生育し潮風や飛砂を防ぐ役割を担っている海岸性植物の重要性を知り、分布状況をモニタリングして、より多くの方に関心をもってもらうことを目的としています。</li> <li>• 6/16 砂浜と磯の生き物観察会：東京経済大学 大久保奈弥・海の生き物を守る会との共催。生物の多様性について学び、身近にいる生物と触れ合うことを目的としています。</li> <li>• 6/17 砂浜連続シンポジウム 鎌倉・三河・奄美大島～いざ鎌倉編：日本自然保護協会との共催。海の自然保護は陸上に比べ大きく遅れており、また東日本大震災後砂浜の改変・現象が進んでいることから、砂浜生態系の仕組みや重要性への意識を高め砂浜の保護を進めることを目的として開催しました。</li> <li>• 7/15・8/12 豆腐川アカテガニ観察会：夏の繁殖時期に河口に下りてくるアカテガニの生態について学び、大潮の満潮の時間帯に行われる放仔(産卵)の様子を観察しました。</li> <li>• 9/24 ビーチクリーンアップ：秋のビーチクリーンアップでは、世界ゴミ調査キャンペーンの一環で回収ゴミの集計もあわせて行います。全国の海岸の散乱ゴミデータと合わせて集計され、国際海岸クリーンアップに提供されます。</li> <li>• 10/20 稲村ヶ崎海岸～鎌倉高校前間で砂浜の観察：近年、稲村ヶ崎海岸の砂が急激に減少して岩盤の露出が顕著になっている現状を、海岸を歩いて観察しました。</li> </ul> <p><b>【活動の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビーチクリーンアップ：のべ1,917人が参加し、流し台や漁具などの大型ゴミも回収しました。5月の参加人数は、市内海岸8カ所の受付合計で794名、配布ゴミ袋数は、可燃ゴミ袋524枚、不燃ゴミ袋474枚。9月の参加人数は合計で1123名、配布ゴミ袋数は、可燃ゴミ袋731枚、不燃ゴミ袋693枚。</li> <li>• 浜の植物を楽しむ会：参加人数2名。国道134号線の拡幅工事により、ハマヒルガオ群落は、鎌倉高校前では消滅、峯が原信号所前の群落跡地も回復の兆しは見られませんでした。擁壁の下にはハマヒルガオやコウボウシバが少しずつ芽を出していました。七里ヶ浜の、西田幾多郎の碑がある斜面では、工事後数年を経て植物が復活し始めていました。</li> <li>• 砂浜と磯の生き物観察会：参加者44名。親子での参加が多くみられました。和賀江島で、干潮の時間帯約1時間にタコ、カニ、ウミウシ、アメフラシ、ゴカイや貝類、海藻などを採</li> </ul>					

集、種類別に分類後、講師の北海道大学名誉教授向井宏氏、鹿児島大学教授佐藤正典氏の解説を受けました。スマートフォン用顕微鏡レンズを使用して、小さな生物や生物の細部まで観察しました。和賀江島で生物学上はじめて報告、記載されたという、オトヒメゴカイなど、普段は探しにくい生物も見ることができました。


- 砂浜連続シンポジウム：午前中は、講演者、一般参加者とともに、材木座から滑川河口までの砂浜を歩いて観察。午後のシンポジウムの講演で、ダイナミックな砂浜の自然の仕組みやビーチコーミングの楽しみ、その一方でごみ問題や海岸構造物、道路建設や浸食による砂浜の縮小、海岸植物の砂浜での役割に対する意識の低さなど、魅力もある一方課題も多い、鎌倉の砂浜の現状について報告。
- 豆腐川アカテガニ観察会：7/15の参加人数2名。波が橋の下まで寄せる絶好の条件にもかかわらず、アカテガニやベンケイガニの姿が少なく、放仔を見ることはできませんでした。8/12は参加者2名、ここ数年カニの減少は顕著で、この日は産卵しそうなアカテガニを見ることができませんでした。
- 稲村ヶ崎海岸の砂浜の観察：会のメンバー7名が、海浜工学の専門家、(財) 土木研究センター・なぎさ総合研究所所長宇多高明博士とともに海岸を歩き、砂の失われた状況を観察しました。宇多氏より、稲村ヶ崎海岸の砂鉄を含む比重の重い砂が大量になくなることは珍しい現象であること、海岸からどこへ砂が流れていったのか、いくつか可能性が考えられることなどの説明を受け、砂がなくなっている状況の写真の撮り方や、定点観測を行う方法についてアドバイスを受けました。



団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	150名	代表者	岩田 晴夫
活動目的	自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				
<p>【活動の内容】</p> <p>私達は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティーの向上をはかることを目的として活動を実施しています。</p> <p>① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月2回実施しています。 自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上・生物多様性の保全)を図ること等が目的です。 コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993年5月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993年5月～)等の作業を実施。</p> <p>② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)をしています。</p> <p>③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。</p> <p>④ 平成6年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)の活動を年間10回指導しています。</p> <p>⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受けています(1997～)。 佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。</p> <p>⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施しています。</p> <p>⑦ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言しています。</p> <p>⑧ 神奈川県藤沢土木事務所による坂ノ下の災害復旧工事後のモニタリングを継続実施し、貴重種の保護と管理上の留意点を助言しています。</p> <p>⑨ (公財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1月)しています。</p> <p>⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施しています。</p> <p>⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣しています。</p> <p>⑫ 鎌倉メダカの系統保護を図ると共に、市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力しています。</p> <p>⑬ 鎌倉市のアライグマとタイワンリスの防除実施計画に協力しています。</p> <p>⑭ 神奈川県藤沢土木事務所による柏尾川・滑川・神戸川の護岸整備工事・維持管理に際し、野生動植物の生息環境保全の面から助言を行なっています。</p> <p>⑮ 貴重種・重要種に指定されている野鳥の繁殖環境保全に係わる自然環境調査を実施。</p>					

#### 【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿性花園内に既存動植物の保全区域を維持している。主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続しています。近郊緑地保全地区や開園後の夫婦池公園等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の整備・維持管理に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。ニホンザル・イノシシ・キツネ等の“離れ”個体に係る情報をまとめ、県と市の関係機関に提供しました。附属小学校のひょうたん池のエコアップ作業を指導しました。永福寺跡の苑池や梶原7号緑地の調整池等の整備・維持管理について協力しました。保全緑地や公園等にトレイルカメラを設置し、鳥獣の生態・保護に関わる情報の収集を図っています。

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	1,288名	代表者	中村 和夫												
活動目的	まちの美化活動／廃棄物分別																
【活動の内容】																	
1. まちの美化活動																	
<p>三菱電機(株)鎌倉製作所及びインフォメーションシステム統括事業部、関係会社(6社)*1の有志を募り、通勤で利用している工場周辺道路を隔週で清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。本活動は03年度より開始し、17年度からは湘南町屋駅に「鎌倉市アダプト・プログラム」ののぼり旗を掲げて、美化活動への意識の高揚を図っています。</p> <p>また、鎌倉市と藤沢市を流れる柏尾川沿いの県道304号線沿いにある企業が連携し、年1回の頻度で地域企業が一体となって鎌倉の環境保全に繋げる清掃活動や、鎌倉市が共催する「クリーンアップ鎌倉2018」にも有志を募って積極的に参加しています。</p>																	
【活動の成果】																	
1) 定量的な成果																	
<table border="0"> <tr> <td>①通い道クリーン活動</td> <td>: 2018年度</td> <td>合計</td> <td>1,176名参加</td> </tr> <tr> <td>②県道沿い清掃</td> <td>: 2018年度</td> <td>合計</td> <td>20名参加</td> </tr> <tr> <td>③クリーンアップ鎌倉</td> <td>: 2018年度(春・秋)</td> <td>合計</td> <td>119名参加</td> </tr> </table>						①通い道クリーン活動	: 2018年度	合計	1,176名参加	②県道沿い清掃	: 2018年度	合計	20名参加	③クリーンアップ鎌倉	: 2018年度(春・秋)	合計	119名参加
①通い道クリーン活動	: 2018年度	合計	1,176名参加														
②県道沿い清掃	: 2018年度	合計	20名参加														
③クリーンアップ鎌倉	: 2018年度(春・秋)	合計	119名参加														
2. 環境出張教育																	
<p>今年で11年目の活動となり、鎌倉製作所で製造されている製品や社員一人ひとりが取り組んでいる工場の環境への取組、工場周辺清掃・海岸清掃の社会貢献活動など紹介をしています。</p> <p>継続的に開催することで、地域の子供たちへ環境マインドの醸成を図っています。</p>																	
3. 廃棄物削減への取組み																	
<p>1) 神奈川県「かながわプラごみゼロ宣言」に地区として賛同表明し構内売店を運営している関係会社と協力し活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋有料化</li> <li>・売店内のゴミ箱撤去</li> <li>・プラスチックスプーン・フォークから紙製等に順次切り替え中</li> </ul>																	
																	
<p>2) 分別意識の向上と更なる分別の徹底を図るため、鎌倉市職員の方をお招きし、「廃棄物講演会」を開催しました。</p> <p>これまでも事業系一般廃棄物の適正な分別に向けた活動を進めてきましたが、未だ不適切な事象が散見されるため、講演会を通じて再徹底を図りました。質疑も活発に行われ、従業員の分別に対する意識向上、及びごみを出さない活動の活性化につながっています。</p>																	
*1: 関係会社																	
<table border="0"> <tr> <td>三菱電機エンジニアリング(株)</td> <td>三菱電機特機システム(株)</td> <td>三菱プレジジョン(株)</td> </tr> <tr> <td>菱電湘南エレクトロニクス(株)</td> <td>三菱スペース・ソフトウェア(株)</td> <td>菱栄テクニカ(株)</td> </tr> </table>						三菱電機エンジニアリング(株)	三菱電機特機システム(株)	三菱プレジジョン(株)	菱電湘南エレクトロニクス(株)	三菱スペース・ソフトウェア(株)	菱栄テクニカ(株)						
三菱電機エンジニアリング(株)	三菱電機特機システム(株)	三菱プレジジョン(株)															
菱電湘南エレクトロニクス(株)	三菱スペース・ソフトウェア(株)	菱栄テクニカ(株)															

団体名	NPO 法人鎌倉リサイクル推進会議	会員数	172 名	代表者	高井 幸恵
活動目的	ごみ発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進				
【活動内容】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆かわら版の発行（行事予定とその内容の案内）毎月発行</li> <li>◆ホームページの毎月更新</li> <li>◆鎌倉市の市民啓発活動への協働参加（フードドライブ 4 回）11 回</li> <li>◆リサイクルに関する相談アドバイス等</li> </ul>					
○ 展示部会					
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆常設展示（通年）</li> <li>◆リサイクル作品展 10 月 15 日～10 月 30 日</li> <li>◆鎌倉駅地下道ギャラリー展示 6 月 12 日～6 月 18 日</li> <li>◆年末年始展示 12 月 15 日～1 月 29 日</li> <li>◆年末年始展示（12 月 22 日～1 月 30 日）</li> </ul>					
○環境部会					
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鎌倉リサイクル通信「ラ・ラ・ラ」（会の活動紹介）28 号（年 1 回発行）</li> <li>◆情報シート No61 号発行（リサイクルに役立つ情報提供）年 1 回発行</li> <li>◆研修エコプロダクツ（12 月）</li> <li>◆見学会 ごみリサイクル中間処理施設見学会（鎌倉資源回収協同組合、テクノトランス）</li> <li>◆学習会「激増するプラスチックごみ 海に！街に！」 講師：プラスチックフリージャパン理事長 小島政行氏</li> <li>◆学習会 夏休みエコ探検隊—マイクロを知って、みんなで地球を守ろう！</li> </ul>					
○イベント部会					
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リサイクルマーケット（5 月 27 日、7 月 22 日、9 月 23 日、11 月 25 日）</li> <li>◆こどもリサイクルマーケット（7 月リサイクルマーケットと同時開催）</li> <li>◆古着古本リサイクル市（年 1 回 3 月 24 日）</li> </ul>					
○生活の知恵部会					
◆全 119 教室を開催					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ減量教室 7 回</li> <li>・修理修繕教室 7 回</li> <li>リサイクル手芸教室 60 回</li> <li>・衣類リフォーム教室 25 回</li> <li>・衣類お直し教室 22 回</li> <li>・リサイクル工作教室 17 回</li> <li>・裂き織り教室 27 回</li> <li>・布ぞうりづくり教室 8 回</li> <li>・端布で作るつるし飾り 11 回</li> <li>・その他教室 8 回</li> </ul>					
（活動内容は鎌倉市からの受託事業と自主事業を合計したものです）					

[活動の成果]

事業実績は受託 119 回・1425 人、自主事業 71 回、760 人、併せて 190 回の事業を実施し、参加人数は延べ 2185 人でした

[特記事項：不用品登録協働事業（愛称：リユースネットかまくら）]

本会とNPO法人シチズンネット・鎌倉市の三者による協働事業。  
市民の「譲ります」「譲って下さい」の情報をインターネットに公開。  
その橋渡しの活動。  
登録申し込み 1,480 件 ・応募 1,543 件 ・成立 1,040 件

● 古着古本などのリサイクル

特定非営利活動法人 鎌倉リサイクル推進会議では笛田リサイクルセンターを会場に、不用になった品物を必要な人が再使用できるように、各種のリサイクルマーケットを開催しています。

平成 28 年度の開催したマーケット等の実績は表のようでした。

表 リサイクルマーケット等の開催状況

イベント名	実施日	実施内容	来客者数
リサイクルマーケット・こどもリサイクルマーケット	平成 30 年 5 月 27 日、7 月 22 日、9 月 23 日、11 月 25 日	出店数 合計 128 店舗	合計 1,300 名
古着古本リサイクル市	平成 31 年 3 月 25 日	古着 寄付数 1,407kg 引取数 1,027kg 古本 寄付数 3,371 冊 引取数 1,721 冊	746 名

団体名	湘南・省エネネットワーク	会員数	10名	代表者	前島 仁
活動目的	地球温暖化防止および省エネルギーの広報・教育・普及・調査等の推進				

**【活動の内容】**

**1. 広報事業：省エネカレンダー・省エネ講演会開催**

- ・省エネカレンダーを26部制作して、家庭で毎月の省エネ目標と行動について省エネアイテムをチェックして実施するように配布しました。湘南の四季を愉しむ環境との共生をテーマにして、写真や省エネ俳句を掲載するなどによりたいへんな好評をいただきました。（26名参加）
- ・省エネ講演会を9月7日に「スマートシニアライフ」と題して、シニアのエコライフへの取り組みを講演しました。 11名受講）

充実したシニア生活の過ごし方について、エコライフの観点から講演した内容について反響が大きく、参加者から反響が大きく大好評でした。

**2. 教育事業：中学校・高校生への環境教育**

中学校および高校生へ地球温暖化防止や省エネルギーについての理解を深めるための出前講座を合計2回開催しました。

- ・鎌倉市立手広中学校のふれあい体験講座で1～3年生を対象に「家庭での省エネルギー」の出前講座を10月18日に実施しました。

温湿度計を受講生へ配布して室内の温度測定を実習するなど冬の省エネルギーについてのポイントを講義しました。 (8名受講)

- ・平塚学園高校3年生へ地球温暖化防止対策と省エネルギーの体験講座を8月3日に実施しました。

温湿度計を配布して室内の温湿度を測定して季節ごとのスマートな生活と省エネ、自然環境との共生を実習で学びました。 (1名受講)

また、環境教育の実施効果を測定・評価する方法を新たに開発し、講義の実効性を向上するために有効な**教育用ツール**として活用するようにしました。

〈高校生へのふれあい体験講座の光景、 配布した温湿度計、 省エネ照明の比較実験器具〉



**3. 普及事業：まちづくり報告会の開催**

- ・まちづくり報告会を3月29日に開催して、低炭素都市を目指す「鎌倉市のまちづくり〈現在・過去・未来〉」を市民らに報告しました。（7名受講）

#### 4. 調査事業：省エネフォーラム開催および省エネ関連動向調査

- ・省エネフォーラムを4月27日に開催して、エネルギー政策関連のパリ協定、原子力および再生可能エネルギー、省エネ法（トップランナー制度、ベンチマークなど）の改正、エコアクション21の規格改訂、新炭素革命（蓄電池・電気自動車、有機EL等）関連の最新状況、電力・ガスの自由化向などについて国内外の動向を調査しました。（8名参加）
- ・エネルギーフォーラムを7月6日に開催して、エネルギー価格決定メカニズムおよび価格動向・変動要因について調査しました。（7名参加）
- ・神奈川県内湘南地域における低炭素・温暖化防止対策の自治体間比較ベンチマークを調査しました。
- ・三菱電機照明株式会社のショールームで、1月11日にLED電球による最新の省エネ照明技術を視察しました。（9名参加）

〈三菱電機照明株式会社のショールーム視察会、



団体会員の近影(創立20周年記念祝賀会)〉



- ・神奈川県環境基本計画の進捗状況についてのパブコメに意見陳述して追加的な施策を提言しました。

#### 【活動の成果】

市民および生徒を対象とした省エネ講座、視察会などを合計8回開催して77名が広く参加しました。

受講後は家庭での省エネルギーの実践に取り組まれております。 創立後20年間の活動成果は、展示会等のイベントへの参加：15回出展

(来場者：約3万人)、省エネニュースのメールニュース発信：約230回(閲覧者：延べ約3千人・回)、TV・ラジオ等放送：7回(視聴者：推定数百万人)、環境学習の出前講師：延40回(受講者数：約2千人)、市民向け報告会・講座などを25回開催(受講者数：約4百人)

低炭素社会の実現に向け地球温暖化防止および省エネルギーの実践活動を今後も継続していきます。

団体名	かまくら桜の会	会員数	23 名	代表者	高柳 英麿
活動目的	鎌倉市の木であるヤマザクラを中心に、市内の桜の保持、育成、市民へのPR活動を行う。				

### 【活動の内容】

#### ◆植樹

かまくら桜の会は、市内の桜を大切に思い活動しているグループと個人が集まり、平成 20 年に発足しました。以来、行政や日本花の会、日本さくらの会のご指導を頂き、市内各所に植樹を行っています。30 年度は下記の場所に植樹をしました。

- ・ 11 月・・・二階堂・永福寺跡に補植  
葛原岡神社へ 10 本送る（桐ヶ谷桜）
- ・ 2 月・・・鎌倉郵便局前に 1 本（桐ヶ谷桜）（県土木より）



#### ◆若宮大路の桜手入れ

かまくら緑の会より引き継いだ若宮大路のサクラの手入れを、毎月第 3 木曜日に行っています。草刈り、水やり、施肥などの作業を行っていますが、近年は特に弱った木が目立ちます。

そのような場合は専門家の指導を頂いて適切な処置をとり、管理する藤沢土木事務所へ連絡をするなどしています。

#### ◆視察・見学

鎌倉市内をはじめ他の市町村の緑や自然環境の様子を知ること、また会員同士の親睦を深めるために行なっています。

4 月上旬は各地域の桜まつり、昨年度植えた鎌倉歴史文化交流館の桜見学などに参加し、会員や参加者に好評でした。

#### ◆講演会ほか

12 月 19 日・・・鎌倉駅東口広場クリーン運動

3 月 28 日～4 月 7 日・・・写真展「鎌倉と京都の桜」（カトレヤギャラリー）

3 月 30 日・・・講演会「鎌倉の桜」（会長：高柳英麿）（大船フラワーセンター）

### 【活動の成果】

市内にはたくさんの桜愛護の会、桜愛好家のグループがあり、活動の様子について情報交換を行い、互いに協力できることの確認をしています。そのため各地域の桜の話題も増え、活動も活発になってきています。

今後も植樹や手入れに力を入れ、講演会等を催し、桜の文化を楽しみながら学んでゆきたいと思えます。